青牛式トレードマスター講座

少額から利殖する意義と資金管理

○少額から利殖する意義

私は、全資金量から個々のトレードに必要な分だけの資金を入金しており、これには明確な理由があります。

その中でも、特に大きな意味を持つのは次の2つ。

- ① 入金口座を溶かしても、本資金を守ることができる。
- ② 資金を小分けにすることで、経験値を獲得することができる。

① について、説明します。

何を隠そう私自身、過去に汗水垂らして貯めた1,500,000円をすべて溶かすという強烈な通過儀礼を浴びています。

また、この時は複利で運用していたため、全資金量に対して機械的に算出したロットサイズが大きくなることで生じるメンタルへの負荷をコントロールできなかったことも大きかったと思います。

また、複利運用でなければ大きく利益を出すことができないとも思っていましたし、巷に溢れる資金の2%をリスクにトレードすることが正義ですという

青牛式トレードマスター講座

俗説を鵜呑みにするという愚か者でした。

それに対し、自分自身が平均的に取り扱うロットサイズに必要な証拠金だけを口座に入れておく方法では、自分の意志に関係なく大切な資金全体を守ることが可能になります。

この資金全体を守るということは、トレーディングスキルを磨く上で本当に重要で、なぜなら資金がなければそもそもトレードができないからです。いくらデモで利益を出そうが、実体験としての学びは薄っぺらいものでしかありません。というか、個人的にはデモでトレードする意味は全くないと思っています。

そして、この方法をとる場合、レバレッジに対する考え方を改める必要があります。

平均的に取り扱うロットサイズ分だけの証拠金でポジションをとるということは、ほぼすべての証拠金を使ってポジションを持つため、当然フルレバになるわけですが、資金管理戦略として本資金を別で確保してあるため、全資金量に対してのリスク割合は取るに足らない数字という仕組みです。

次に、②についてですが、

① でも触れたとおり、そもそもの資金がなければトレードを続けられない

青牛式トレードマスター講座

わけですし、逆に言うと、**資金がありトレードを続けられてさえいれば、誰でも必ずトレードで成果を出すことができると確信しています。**

ではなぜ、相場参加者の 9 割が退場するのかといえば、相場にシバかれる過程で、資金を溶かして退場してしまうか、トレード自体を嫌いになってモチベーションを保てなくなることが大方の理由でしょう。

まとめると、少額の定義は個々によって異なりますが、大切なことは全資金を最低でも 20 等分ほどに分けて、相場に関わる機会を確保してください。

1st ポジションで持つサイズに必要な証拠金の量は、各自で決めておいてください。

○資金管理

結論から言ってしまうと、私自身、今となっては資金管理について細かく決めていません。

なぜなら、いくらシステマティックにルールを設定したところで、それを管理する人間のメンタルが正常に保たれていなければ、そのありがたいルールは全く機能しないからです。

青牛式トレードマスター講座

なので、現在、私が設定している資金管理のルールは、こんな程度です。

1. 正常なメンタルを維持できなくなったら、その日は終了。
2. 週末には必ず出金する。
3. 口座残高から 10 万円マイナスになったら 5 万円を残し出金する。
4. 連敗が続き、メンタルがブレてきたら出金する。
5. 資金が 50 万円以上になってからの一回のトレードでの最大リスクは、15%まで。

なので、資金管理について最も大切なことは、「**正常なメンタルを維持できるポジションサイズでトレードすること。**」であると、当講座では統一します。

○最後に

別に誰かの爆益を見て焦る必要はありませんし、そもそもそういう情報は完全シャットアウトして、自分のトレードに集中してください。

この講座で最も重要視することは、個々のトレードの結果を実現した背景にある潜在リスクを限りなく抑え、主導権を持ちながらリスクをコントロールし、利益を指数関数的に積み上げていくスキルと、それを支えるマルチタイムフレーム分析の習得です。

青牛式トレードマスター講座

相場の世界では、どんなに雑で下手なトレードであっても、利益を積み上げて結果さえ出せば、それが絶対的な正義であり本質だと思います。

しかし、それを未来永劫にわたって通用する普遍的なトレーディングスキルと呼べるでしょうか。

私自身、個々のディティールやスマートなトレーディングスタイルに固執するあまり全く勝てない時期を経験してきましたが、今となっては、それらすべての経験が私の血肉になっていると強く実感しています。

もし、あなたが青牛のトレードに魅了されているのなら、少なくとも当の本人は毎日吐きそうになり、お金がなくて鬱になりかけながらも必死になってもがき続けた経験を踏まえて、今、完全オーダーメイドのトレーダー像を創り上げたことを心に刻んでください。

以上、よろしく願いいたします。

あをうし